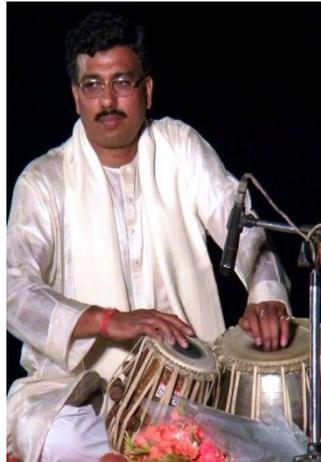
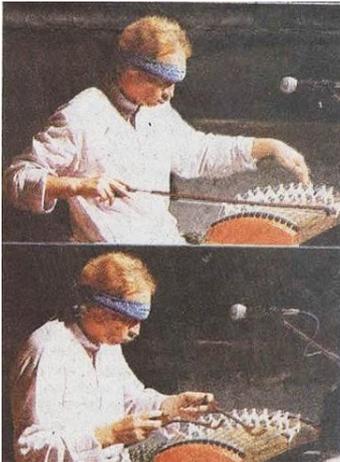


友愛で手を取り
合って支援
しましょう

日本・印度・米国・世界がスリランカ応援
JAPAN INDIA USA WORLD for SRI LANKA

2019年6月15日(土) 14:00~(開場 13:30) * 予約不要
富岡市社会教育館 富岡市一ノ宮 1465 番地 1 ☎0274-62-2033
一之宮貫前神社東隣 駐車場あり * 参加費: 2000 円 / 小中高 1000 円



renowned artists of India, USA, Japan enchant with music, song & drama in
classical, sacred, folk & modern idioms of India, Japan, Sri Lanka, Asia & Europe+

- * 5カ国の平和の歌と音楽 & ラーガ+ 短歌 ♪ tanka & peace songs in 5 languages *
- * 世界が奏でるアジア音楽 ♪ raga+ on instruments of Japan, India & beyond *
- * 世界音楽メドレーでアジアと世界が共鳴する ♪ world music medley *
- * 世界に絶好評の仮面舞踊劇 <コンキチ> ♪ dance-drama KONKICHI *

* T M Hoffman * 天竺尺八・13弦箏・うた * shakuhachi, koto, vocal * 米国出身, アジア40年。
ピアノを4歳より、尺八を故人間国宝山口五郎、インド古典声楽をガネシュ・プラサード・ミシュラの許で手ほどきを受け、声楽と笛の師範。和楽器・和歌とインド音楽という「日印音楽」の開拓者。日本、南アジア、欧米で多数の公演や音楽祭、国営放送による演奏や教育活動。日本外国特派員協会、インド芸術連盟、全米インド学会、他に受賞。カリフォルニア州立大学、国際基督教大学、インドのバートカーンデ音楽大学、ハワイ大学大学院優等卒業。慶應義塾大学、武蔵野音楽大学、他で講師。創立1989年の日印音楽交流会代表として国内外の音楽企画を実施、音楽教室を主宰。

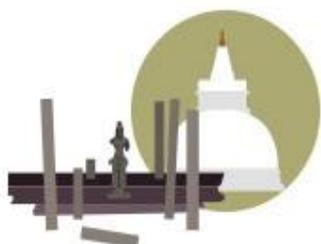
* Tansen Shrivastava * 太鼓タブラー・声 tabla, percussion, vocal * ニューデリー出身のタブラー奏者。
幼少より、著名なタブラー奏者に師事。これまでに、世界各国のフェスティバルでの演奏経験を持ち、2007年と2009年にはイギリス Belfast SUMMER FESTIVAL への出演を果たす。2010年には当時のインド大統領の邸宅に招聘されアメリカ大統領オバマ氏を前にして演奏。また、指揮を務める打楽器バンド LAYAYATRA はインド国内でも高い評価を受け、2011年には Sacheon 国際打楽器祭(韓国)にて、ギタリスト渡辺香津美氏との競演を果たす。インド古典音楽及び様々な楽器との競演も得意とし、聴衆を魅了し続けている。Amity 国際学校(デリー)にて音楽講師を務める。

2019年4月21日にスリランカの8か所で、同時多発テロ事件でキリスト教教会や高級ホテルが爆撃された。
253人が死亡し、500人以上が負傷した。光り輝く島が本来の陽気な環境となるよう支援しましょう。



社会教育館は、昭和11年に建設された歴史的にも文化財的にも貴重な建物であり、富岡市として誇るべき施設です。

電車: 上信電鉄 上州一ノ宮駅から600m徒歩10分
車: 上信越自動車道 富岡ICより5km約10分



*** 聖山スリー・パーダ Sri Pada 2243m、英語名アダムズ・ピーク Adam's Peak ***

頂上の岩には、「聖なる足跡」が刻まれ、仏教徒にとってはブッダの足跡、ヒンドゥー教徒にシヴァの、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教徒にはアダムとイブのアダムの足跡、という伝説が生まれました。現在スリー・パーダは、特定の宗教を越えた聖地として崇められて、毎年多くの巡礼者と旅行者でにぎわいます。その登る途中に日本山妙法寺があります。<> 様々な言葉や信仰の精神文化がありながら、天下の兄弟姉妹として一緒に巡礼地として千年以上の歴史があるスリランカを代表する山を登りましょう。

*** 仮面劇 KONKICHI** は田島伸二著の作品で、1989年に T M Hoffman 訳で英語版の短編集 *The Legend of Planet Surprise* の中に収められています。英語版からヒンディー語やシンハラ語、韓国語、ベトナム語、アジアの国々では 28 言語に翻訳されています。KONKICHI が演劇として 2007 年に日本、その後中国、スリランカ他で好評です。この物語のあらすじは、山の自然環境がどんどん破壊され、子ギツネのコンキチは狐をやめて人間になろうと、特別な術で人間になって、都会の会社で働き始めるのです。ところがその会社は<?!>と、そして、結局<?!>という悲劇になる。今回のコンキチ役はまた見どころです!

主な楽器 * instruments

箏 koto * 日本の代表的弦楽器で、細長い箱型の木製の共鳴胴の上面に 13 本の弦を張りわたし、柱を立てて調弦し演奏する。箏は何千ものインド音階の全てに調弦が可能であり、弦を押して音を高くする「押し手」などの技法によりラーガの演奏が十分出来る。また、ラーガにおいて打弦奏法、弓奏などの新演奏法は広く注目されている。

天竺尺八 shakuhachi * 日本の 5 孔の縦笛で、本曲、箏曲、民謡などに使われる。特別な手法などを使うと、インドのラーガの表現にも適してある。1992 年にインドで正式に「インド古典音楽の楽器」と認められた。

tabla タブラー * 二個一組の締め太鼓。高音の右と低音の左のそれぞれの音色を組み合わせると 20 種類もの音色が出る。南アジア全域の音楽の伴奏楽器であり、更に踊りや独奏でも人気物。多数のセットはタラング。

日印音楽 * 音楽と言葉の「音文化」における交流・共同開発の展望

スリランカと南アジア諸国も所謂インドの言語と音楽文化圏に入ります。インドと日本の音文化の間には重要な共通性があります。すなわち、日本語とインドの言葉の間には、音韻や音節構成・長短母音・文型などの重要な特性が共通しており、インドの歌には日本語の歌詞が十分に合います。また、箏や尺八は、インドの楽器と同様、微分音程や滑りの旋律的技法に有能な楽器であり、インドの旋律法ラーガをこうした楽器で演奏することが「インドのソフト+日本のハード」で、その楽器の潜在的演奏能力を呼び起こすことができます。インドの楽器と歌、和楽器と日本語の調和が聴かせる新たな、また懐かしいアジアの音風景をお楽しみ下さい。

